

岡山県総合文化センターニュース

道しるべ

倉敷・茶屋町の道しるべ



茶屋町の歴史は天和3年（1683）宮崎村民総動員で行われた宮崎割開墾に始まる。その後元禄3年（1690）に添新田の開墾、宝永4年（1707）には旗本早島戸川氏・帯江戸川氏のもとに沖新田村の干拓が行われた。

開墾後当地は、南は天城を経て下津井港へ、北は汐入川堤を経て早島、岡山へ結ぶ金毘羅往来の要地となる。宝暦元年（1751）前後には多くの旅人がこの道を通行するようになった。

文化文政の頃になると、全国から集まる金毘羅参りの客がこの道を通りだした。参詣客が群れなす賑わいは、明治の初めまで続いた。茶屋町の名の由来も、「海陸交通の要地であったため、自然と茶屋などが立ち並んで茶屋町と呼ばれるようになった」というものと、「昔ここに天城池田侯のお茶屋があった」という二説がある。

現在も、金毘羅道と記した石の道標が一本残っている。JR茶屋町駅前から商店街を西へはずれる、茶屋町橋手前の四つ角である。

高さ約94cm、四面の幅約25cm、頭部を山形にした花崗岩の方柱で、四面には

（北面）すぐ 古んひら道 （東面）右 い奈り 道
（南面）すぐ 吉備津 道 （西面）左 下津井 道
於可山 道 （西面）若者中

と刻んである。満身創痍ながらも補修され大切に保存されている。

【参考文献】

『茶屋町史』福山 恒治／ほか編集 改訂版茶屋町史刊行委員会 1989 『岡山の道しるべ』巖津 政右衛門／著 日本文教出版（岡山文庫70）1976 『岡山県の地名』平凡社地方資料センター／編集 平凡社（日本歴史地名体系第34巻）1988



新県立図書館着工へ

館長 広江 寿彦



新年あけましておめでとうございます。

変革の激しい時代といわれていますが、昨年は、構造改革、同時多発テロと時代を大きく変える象徴的な年でありました。

今年は、明るい話題で象徴的な年になってほしいものです。

さて、本年は、いよいよ、新県立図書館の建設工事が始まります。平成16年には、県庁北隣（旧丸之内中学校跡）に地上4階、地下1階約18,000㎡の新館が誕生します（現在の総合文化センターは、展示室、ホールを含め約6,300㎡）。

1階玄関ホールを入ると、左側に児童資料部門、中央から右には一般参考資料部門と人文科学資料部門の開架閲覧室があります。2階には、岡山県関係資料部門、科学技術資料部門、社会科学資料部門の開架閲覧室があります。また、パソコンがずらっと並んだインターネットアクセスコーナー、文化センターでは扱っていなかった視聴覚資料コーナーもあります。

このほか、デジタル資料の編集加工室、カウンターで端末機を操作すれば、資料が、自動的に3・4階の閉架書庫から運ばれてくる自動書庫など全国最先端の図書館となります。

一方、資料整備ですが、新館時に、24万冊の

開架を目指して、昨年からの緊急整備を始めております。

県立図書館のサービスは、直接の来館者だけではなく、全県域に広げなければなりません。そのためには、電子化を進め、インターネットを通して、誰もが、いつでも、どこからでも利用できるようにするとともに、市町村立図書館の充実が不可欠です。

市町村立図書館は、年々増えており、現在、78市町村のうち37市町に設置されています。市町村数で言えば、半数に達していませんが、人口で見ると約88%のカバー率です。（このほか、条例上は図書館とされていなくても、実質的には、図書館として運営されているところも相当数あります。中には、蔵書のインターネット検索ができたり、自動車文庫を運営している町村もあります。）

文化センターでは、市町立図書館とネットワーク推進協議会を設置し、蔵書の一体的な検索システム、郷土資料データベースの構築、図書館間の資料搬送に取り組んでいます。

県立図書館は、県の情報中核拠点施設であり、市町村立図書館はもとより、大学図書館、専門図書館ともネットワーク化を図り、県内各地域に質の高い図書館サービスが行き渡るようにしてまいります。



県庁から見た建設予定地（旧丸之内中学校跡）



県庁から見た完成イメージ

おかやま人物往来 (65)

なり あい おお え
業合大枝

業合大枝は邑久郡邑久町北島字上寺の人で豊原北島神社の祠官で国学者・歌人でもあった。豊原北島神社は、藤戸合戦で有名な佐々木盛綱が奉納したと伝えられる色々威大鎧（国指定重要文化財）を所蔵していることでも知られている。

大枝は寛政3年（1791年）に備前神職組頭兼大頭業合信庸の子として生まれた。大枝は父の寺子屋を助けていたが文化6年（1809年）19歳で藤井高尚の松屋門に入った。

大枝の師である高尚は本居宣長の鈴屋に入門し、宣長から将来に期待を寄せられた人物であった。高尚は吉備津宮祠官藤井高久の子で国学者として活躍し、「伊勢物語新釈」「古今和歌集新釈」などの主著のほか、文集、紀行文、和歌集がある。

大枝は文政2年（1819年）29歳で香川景樹の歌論集「新学異見」に対して「新学異見弁」を執筆し、景樹の説を批判した。「新学」において賀茂真淵は「万葉集」を理想とし、歌の詞、調べも「万葉集」を手本にすべしと主張した。それに対して、香川景樹は「古今集」を理想とし、元来、歌は実情を自然に述べるべきもので作為技巧が介在してはならないとし「万葉集」に似せること自体がよくないと主張した。大枝は「新学異見弁」で真淵の立場に立ち、景樹の主張を批判し、よき歌を見習うことがなぜ悪いのかと反駁を加えた¹。この「新学異見弁」の完成までに藤井高尚の添削による指導や助言があったことが知られている²。高尚の大枝に対する信頼の篤さを示すものとして、

高尚が秘蔵の本居宣長画像を絵師に写させ、自ら賛を加えて大枝に贈った事実を挙げることができる。また高尚の養孫高枝（後の高雅）は大枝から和歌の添削など受けていることも知られている。

文政6年（1823年）に大枝は藤井高尚と親交のあった平田篤胤の「気吹舎」に入門する。大枝は篤胤からも学才を認められ、入門してまもなく吉備地方の古道学助教に任命されている。

業合大枝の主著としては前述の「新学異見弁」の他に「神代紀新釈」がある。全15巻からなり、藤井高尚から受け継いだ鈴屋・松屋の学風と平田篤胤から受け継いだ古道学の影響下で執筆されたものである。

大枝の和歌は「類題吉備国歌集」「新世名家歌集」「類題鯁玉集」などに採録されている。

豊原北島神社の前には「まよひきのむかつ嶋根も霞む也常世をかけて春や立らむ」という大枝自筆の歌碑がある。

参考文献としては『日本古典文学大辞典 第4巻』（岩波書店 昭和59年）¹『藤井高尚と松屋派』（工藤進思郎著 風間書房 昭和61年）²『業合大枝略伝竝に歌集』（小林久磨雄、近藤 巖共編 業合大枝翁歌碑建設発起人会 昭和26年）『岡山大学所蔵 業合文庫、塩尻文庫目録』（岡山大学附属図書館 昭和62年）がある。



「藤井高尚 業合大枝文稿 藤井高尚写」（岡山県総合文化センター所蔵）

当館の参考図書 (119)

「雨のことば辞典」(倉嶋厚監修 2000.9 講談社)

大晦日に降る雨は「鬼洗い」、元旦に降る雨は「御降り」……。

本書は雨にまつわることば（漢語、方言、気象用語、ことわざ、慣用句を含む）を集め、解説したものである。千百九十余語も収録されていることから、雨の持つイメージの多様さには驚かされる。例えば「時雨」。朝時雨、山茶花時雨、雪時雨など、全部で二十五もの「時雨」が収録されている。

変わったところでは「汗疹枯らし」。岡山地方

の方言で、夏に降る小雨のことを言うのだそうだ。また中国語で「空中鬼」または「空中死神」といえば、酸性雨を表すそうである。

本書には「雨の降るしくみ」などのコラム欄も設けられ、読みものとしても飽きない作りになっている。巻末には「四季雨ごよみ」と題した索引があり、歳時記として役立ててもよい。

監修者は元NHKの気象キャスター。そのためか気象用語の解説もわかりやすい。

日本語の豊かさを実感できる辞典である。



一日子ども図書館フェスティバル in 美星 (報告)

日時：平成13年9月2日(日) / 会場：美星町中央公民館

「一日子ども図書館フェスティバル」は、子どもたちに、多くの本に触れたり、人形劇やお話の会を通じて物語の楽しさを知ってもらう機会と、特に図書館のない地域の子どもたちに、楽しい図書館の一日を体験してもらえよう、毎年、岡山県読書推進運動協議会が、開催しているものです。

今年度は、美星町中央公民館を会場に、午前10時から午後3時まで、様々な催し物が行われ、370名の参加者でにぎわいました。

図書室では、町内の小・中・高校生11名が、「一日図書館員」として貸し出しや返却の手伝いに活躍してくれました。

「本のリサイクルコーナー」では、たくさんの絵本や大人向けの小説などを並べ、自由に持って帰っていただきました。「絵本のはくぶつかん」コーナーは、布の絵本、音のでる絵本、大型絵本、仕掛け絵本など、様々な絵本を実際に見て触れて遊んでもらうコーナーで、子どもたちは普段の図書室の本



「シャボン玉あそびコーナー」うまくできるかな？



「絵本はくぶつかん」
夢中になって遊んでいます!!



人形劇「てぶくろをかいに」

とは違う手触りや音を、みんなでわいわい楽しそうにじっくり確かめていました。

また、美星町の内外からボランティアの方々においでいただき、ストーリーテリング、美星天文台の先生による星のお話、美星中学校のブラスバンド部による音楽会、おはなしキャラバン隊の皆さんによるおはなし会、人形劇など、多彩な催し物で大盛況でした。

そのほか、シャボン玉コーナーや、折紙コーナー、木で本を作るウッディーアートコーナーなど、自分で創作にチャレンジするコーナーもあり、子どもたちは頭も体も動かしながら楽しんでいました。

この度のフェスティバルを通じて、子どもたち、また、一緒に来て下さったお父さん・お母さん・町内外の方々にも、図書館の良さ、読書の楽しさを再認識していただけたのではと思います。

なお、来年度は西粟倉村で開催する予定です。

岡山県図書館協会50周年記念式・平成13年度岡山県読書大会(報告)

日時：平成13年10月31日(水) 午前10時～ / 場所：岡山県総合文化センター ホール



開会式の様子

岡山県読書大会は今回で30回目となり、今年で創立50周年を迎えた岡山県図書館協会の記念式と合同で開催されました。

岡山県図書館協会の特別功労者表彰式では、岡山県の図書館界の発展に長年尽力された9の個人、団体が表彰されました。図書館や読書活動・出版活動に長年携わってこられた方々の表彰を見守る関係者の感慨もひとしおではなかったかと思えます。

読書大会の表彰式、読書推進運動協議会の伝達表彰式では、県内の図書館で活躍されているボランティアグループや、図書館の振興に貢献して下さった団体に表彰状、感謝状がそれぞれ贈られました。

引き続いて、「これからの図書館のめざすも

の」と題して、日本図書館協会の竹内愨理事長の講演が行われ、言葉のひとつひとつに豊かな実践と真摯なお人柄がにじみ、参加者一同深い感慨と共感を受けました。

午後からは、倉敷朗読研究会のみなさんによる朗読劇、「ぼっけえ、きょうてえ」(角川書店刊)などで人気の和気町出身の作家、岩井志麻子さんの特別講演が行われ、会場は楽しい雰囲気になりました。

当日は350人の一般の方々、また、図書館関係者の参加をいただき、読書の秋の一日を意義深く過ごしていただけたことと思います。

なお、平成14年度は勝北町において開催する予定です。



岩井志麻子氏の特別講演の様子

岡山県図書館協会特別功労者表彰の受賞者

個人の部

黒 義博
秋田 征矢雄

団体の部

岡山市立中央図書館 代表者：萩原 芳身
倉敷市立中央図書館 代表者：武内 時雄
金光図書館 代表者：高橋 行地郎
岡山理科大学付属図書館
代表者：入江 浩一
岡山県子ども文庫連絡会
代表者：堤 知美
株式会社ベネッセコーポレーション
代表者：福武 總一郎
日本文教出版株式会社 代表者：渋谷 通夫

岡山県読書大会表彰等の受賞者

石本 彰
総社朗読グループ「さつき会」
代表者：岩城 敏子
倉敷ロータリークラブ 代表者：三宅 康夫

(社)読書推進運動協議会 優良読書グループ表彰伝達の受賞者

まるパンの会 代表者：羽原 千鶴
(敬称略)



優良読書グループ表彰伝達式の様子

新着郷土資料紹介

生きる力の贈りもの 金光教前教主金光鑑太郎の言葉より 金光鑑太郎 [著] 金光教徒社発行 2001 309\$

福が居る街今昔ものがたり 福居今昔の会編集、発行 2001 121\$

くそべえ 藤井信哉著、発行 2001 92\$

忠恕而已矣 平井勝氏追悼集 平井勝氏追悼集刊行会編集、発行 2001 10, 305\$

さくらんぼ 岡山要約筆記クラブ二十周年記念誌 岡山要約筆記クラブ編集、発行 2001 120\$

岡山天文台岡山天体物理観測所40周年記念誌 岡山観測所40周年記念誌編集委員会編集文部科学省国立天文台岡山天体物理観測所発行 2001 228\$

保健婦活動のあゆみ 1980 - 2000 岡山県看護協会保健婦・士職能委員会編集 岡山県看護協会発行 2001 232\$

木島桜谷と河合文林 円山・四条派の最後の画家 木島桜谷、河合文林 [画] 華鶴美術館発行 2001 76\$

浅野五牛遺作展作品集 浅野五牛 [作] 浅野五牛遺作展作品集刊行会発行 2001 147\$

宇田川家の人たち 学問の家 中貞夫著 津山洋学資料館発行 2001 197\$

朝日寺の宝物 庄田山朝日寺 [編]、発行 2001 39\$

左馬考 随想 日幡直之著、発行 2001 39\$

正宗白鳥とその妻 深井紀夫 [著] [発行] 2001 14\$

弁護士MAP 2001年度版 岡山弁護士会広報委員会編 岡山弁護士会発行2001 44\$

新着外国語図書紹介

親日家

The Donald Richie reader : 50 years of writing on Japan

(by Donald Richie / compiled and edited by Arturo Silva / Stone Bridge Press / 2001)

著者は、アメリカ出身で日本への滞在経験が50年以上にもわたる小説家・エッセイストであり、映画芸術評論家としても知られ、現代の「ラフカディオ・ハーン」と称されているドナルド・リチー。日本に関する知識の広さ・深さ・経験の豊富さという点において、ドナルド・リチーにまさる外国人はおそらくいないであろう。黒澤明監督の映画を筆頭に日本映画のすばらしさを西洋に紹介し、旅行記「日本人への旅」(The Inland Sea)で日本の豊かな風土をたたえた、彼の功績は大きいといえるだろう。本書は、リチーの50年間の著作活動を記念する作品である。

偉人

Yukichi Fukuzawa, 1835~1901 : The spirit of enterprise in modern Japan

(by Norio Tamaki / Palgrave / 2001)

本書は、現在日本の壱万円札の肖像画の人物として私たちにもなじみの深い、福沢諭吉の伝記である。福沢諭吉は、「学問のすゝめ」「西洋事情」「文明論之概略」「福翁自伝」などの著書があり、国際的な視野で物事を見つめながら、日本の近代化をすすめたことで知られている。彼は経済面での貢献度も高く、横浜正金銀行の

支援、洋書チェーン丸善の創設、三井家の近代化などを積極的に推進していった。また、慶応義塾大学を東京に創立し、近代日本のエリートを輩出するなど近代教育の礎も築いている。福沢諭吉が新たな視点から論じられていて、大変興味深い。

冒険

Whiteblack the penguin sees the world

(by Margret & H. A. Rey / Houghton Mifflin Company / 2000)

ペンギンランドのナンバーワンスピーカーである白黒ペンギンは、ラジオ番組で話すネタ切れに大弱り。そこで、白黒ペンギンは新しい話題を求めて旅に出ることにする。彼の旅は、世界中をあちこち回りながらも、ハプニングの連続。彼は、無事にペンギンランドにもどって来れるのだろうか。

著者は、夫のハンスが絵を描き、妻のマーガレットが文を書くという協力体制で、次々と「ひとまねこざる (Cruious George)」のシリーズを発表し、今でも世界中の子どもたちに愛され続けているレイ夫妻。本書は、1937年に夫妻が創作していた未発表の作品がようやく出版された待望の新作である。



随想

旭町の廃校でものづくり10年

染織家 長尾 豊美



久米郡旭町の小さな山里の、廃校になった小学校に移り住んで、もうすぐ10年になる。小さな体育館を工房に、夫は家具を作り、私は教室のひとつをアトリエにして羊の毛を染めて紡ぎ、織っている。

大阪に生まれ育った私たちが、田舎暮らしにあこがれて岡山へ来たのは15年前。都会でともに編集、企画の仕事をしていましたが、田舎への移住を決めたのは、生まれたばかりの子どもを自然の中で育てたいということが大きかった。夫は趣味の木工にのめり込み、家具職人への転身をきめ、職業訓練校へ通い、私は田舎でできる仕事として織物を習った。美作町の知人の持ち山に電柱と間伐材でハンドメイドハウスを建て、田舎暮らしを始めたころは何もかもが新鮮だった。わらび、梅、栗ひろいと、都会では味わえない四季の移り変わりを体感し、鶏を飼い、ままごのような畑を作って楽しんだ。

その後、本格的に家具の勉強をしたいという夫について、4歳の娘とともに1年間暮らした英国で、アーツ&クラフツ運動に出会った。百年前、ウィリアム・モリスらが提唱したこの運動は、産業革命以降の英国の繁栄の陰で、美しい手仕事が消えていくことに警鐘を鳴らしたものだ。今もその精神を受け継ぐ家具工房で、百年前とさほど変わらぬ風景を背に、夫は木を削り、私はデボンの農家の主婦から糸紡ぎを習った。イギリスの田舎で暮らすうちに、それまで心のどこかにあった、自分がドロップアウトしたという意識がすっかりなくなってしまった。みんな好きな場所で好きなように暮らしていけばいいんだと素直に思えた。田舎といっても、私たちが住んだダーティングトンという村は、タゴールの影響を受けた大富

豪夫妻によって、1920年代から芸術を軸にした村おしがすすめられた所で、バーナード・リーチも陶芸を教えていたことがあり、世界中からおもしろい人々が集まっていた。

帰国後、旭町で赤い屋根の木造2階建ての廃校に住むことになったとき、迷わずアーツ&クラフツビレッジと名づけたのは、イギリスで学んだアーツ&クラフツの精神をこの片田舎でも引き継いでいきたいという思いがあったことだ。しかしこの10年間、広い校舎と敷地をもてあまし気味で、せっかくのスペースを十分活用していたとはいえない。最近、次の10年へ向けては、仕事だけでなく、まわりの景観も美しくしていこうと庭づくりを始めた。タイミングよくイギリスから庭師の息子であるジョン君がワーキングホリディで来日し、1年間居候予定なので、彼が専属ガーディナーとなった。

家具工房にはこれまでオーストラリア、イギリスなどの外国や東京、千葉、岐阜、九州など、他府県から木工家志望の若者たちが住み込みで家具づくりを勉強しにきている。1年に作る家具はせいぜい数十点。能率は悪いが、使い捨てでない、代々受け継いでもらえる価値のあるものだと思っている。

校舎の周辺には万葉時代からの野草も残り、草木染めの材料にはことかかない。給食室には大きなガス釜もあり、大量の染めもできる。これからはもっと校舎周辺をきれいにし、週末などに体験ワークショップを開くつもりだ。家具や織物だけでなく、時にはコンサートやステンドグラス、版画など、様々なジャンルのアートとクラフトを気軽に楽しめる場所にしていきたい。春には花盛りのイングリッシュガーデンも完成する予定なので、お楽しみに。

* 岡山県総合文化センター友の会作品展作品募集 *

友の会会員による作品展を開催します。

絵画・写真・書作品・俳句・詩・短歌など、ジャンルは問わず、会員の皆様が制作された作品を募集いたします。

また、当作品展にも多数の御鑑賞・御来場をお待ちしております。

作品展作品募集期間

平成14年2月4日(月)~2月15日(金)

作品展開催期間及び展覧会場

平成14年2月19日(火)~2月24日(日)

午前9時~午後5時(24日は午後4時まで)

岡山県総合文化センター1階準備室

* 図書資料の横断検索システム、参加館増加 *

県総合文化センターと県内公立図書館3市3町15館(地区館を含む)で立ち上げた『分散型総合目録検索システム』(図書館横断検索システム)への参加館が、平成13年度末をもって、新たに6館(1市5町)増えて、20図書館、1公民館図書室の蔵書検索ができるようになります。新たに加わる館は、総社市、鴨方町、奈義町、旭町、和気町の各図書館と、哲西町公民館図書室です。今後、県内各圏域において横断検索参加館が増加する予定で、県民の皆様への図書館サービスのますますの向上が期待できます。

ギャラリー

期間 (週)	第 1 展 示 室		第 2 展 示 室	
	大 室	小 室	大 室	小 室
1/29 2/3	第46回 岡山市教職員美術展 洋画・日本画・版画・写真・工芸 計135点 岡山市教職員美術展運営委員会 入場無料		第18回 岡山県工業高校デザイン展 デザイン(岡山工高デザイン科、高梁工高デザイン科・インテリア科、東岡山工高設備システム科)400点 岡山県工業高校教育協会 入場無料	
2/5 2/10	独立展(巡回展) 油絵100点 独立美術協会 700円(高校生以下500円、老人400円)、前売り一般600円			
2/12 2/17	第34回 岡山県高等学校美術展 絵画250点・デザイン100点・立体20点・工芸30点 岡山県高校美術部協議会 入場無料		岡山県書道協会展 書60点 岡山県書道協会 入場無料	
2/19 2/24	ノートルダム清心女子大学 児童学科卒業制作展 油絵70点・彫塑5点・パネル6点 ノートルダム清心女子大学 児童学科 入場無料		第135回 県下小・中学校習字書き初め展 書(書写)1500点 岡山県習字教育研究会 入場無料	第3回 日本画 坤(つち)の会展 日本画40点 坤の会 入場無料
2/26 3/3	中国デザイン専門学校 造形専門課程 3年卒業制作展 デザイン(グラフィック、CG、イラストレーションアニメーション、インテリア、プロダクト等)約60点 中国デザイン専門学校 入場無料		第6回 医用デザイン展 2001 卒業制作 デザイン作品150点 川崎医療短期大学 入場無料	
3/5 3/10	岡山県立大学デザイン学部・大学院 卒業・修了制作展 平面及び立体デザイン100点 岡山県立大学 入場無料			
3/12 3/17	岡山大学教育学部 美術・工芸教室卒業・修了制作展 油絵・日本画・彫塑・グラフィックデザイン・染織・陶芸・木工 他約100点 岡山大学教育学部美術工芸教室 入場無料		「特美49年～今、を顧る～」展 絵画・彫刻・デザイン 他約160点 岡大特美を検証する実行委員会 入場無料	
3/19 3/24	岡山県現代俳句の書展 書175点 岡山県近代詩文書道連盟 入場無料		第33回 備前陶心会展 陶芸作品(備前焼)40点 備前陶心会 入場無料	岡山美術クラブ展 洋画・日本画・書 他約140点 岡山美術クラブ 入場無料
3/26 3/31	第35回 聖雲書道会展 書230点 聖雲書道会 入場無料		有鄰書道会 第2回 首関会書道展 書150点 有鄰書道会 入場無料	木曜会写真展 写真約80点 木曜会 入場無料

ギャラリーの開場時間は通常9時から17時です。
団体の都合により、展覧会名称・入場料等が変更されることもあります。

ホール(固定席282席)

日 曜	催 物	時 間	料 金	主 催 者
2/7(木)	ピアノ研修会	未 定	無 料	カワイ音楽教室
2/9(土)	第2回 岡山重音楽演奏会 “Rock Of The Day”	14:00~17:00	1,000円	“Rock Of The Day” 実行委員会
2/10(日)		12:00~19:00		
2/17(日)	第5回 就実高等学校演劇部卒業公演	未 定	無 料	就実高等学校 演劇部
2/23(土)	マスカット バイバイ ライブ	13:00~16:00	500円	岡山理科大学 軽音楽愛好会マスカット
2/24(日)	講演「メディア報道とメディア・リテラシー Part1」 松本サリン事件はどう報道されたか - 報道と人権の視座から -	13:30~15:00	1,500円	メディア・フォーラム お か や ま
3/1(金)	文化センターホール使用抽選会 (対象期間: H14. 9月~11月)	9:00~		岡山県総合文化センター 総務課文化係
3/2(土)	演劇公演	18:30~20:00	未 定	演技塾ジャーム
3/3(日)		13:00~14:30		
3/10(日)	合唱の演奏会 「第2回 ぼこあぼこ コンサート」	14:00~	無 料	女声合唱団 ぼこあぼこ
3/16(土)	ライブ	13:00~16:00	無 料	岡大軽音ロック
3/21(木)	第3回 コール・リーベン スプリングコンサート	13:30~	無 料	コール・リーベン
3/23(土)	音楽演奏「離ライブ2002」	未 定	無 料	岡山大学鹿田軽音楽部
3/24(日)	ギターコンサート 「-ギターは心の友- ギターフェスティバル」	13:00~15:00	前:1,000円/当:1,200円 学生(高校生以下) 前:600円/当:800円	岡山県ギター愛奏会
3/28(木)	英語演劇「英語でDO OVER」	14:30~	無 料	岡山大学英語研究部

ホールの、楽屋25・舞台96.40・客席196.98・固定席282席です。
使用希望者は、3ヶ月ごとの抽選会に出席してください。
平成14年のホール抽選会は、3/1(9~11月)・6/3(12~2月)・9/2(3~5月)・12/2(6~8月)ですが、抽選済の期間で空きがあれば随時受付けています。
使用目的は、ピアノ発表会・バンド演奏会・演劇公演等、営利目的以外の芸術文化関係の催しに限ります。
上記の催し物は、12月末現在申し込み済みのものです。
主催団体の都合で、中止・変更等の場合もありますので、事前に御確認願います。

催し物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。(<http://www.libnet.pref.okayama.jp>)